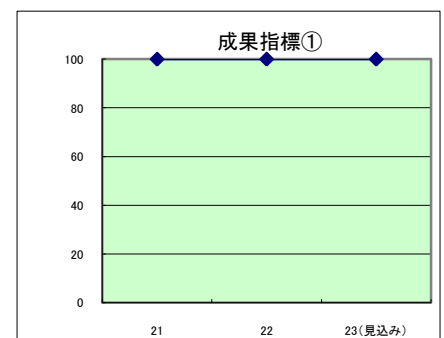
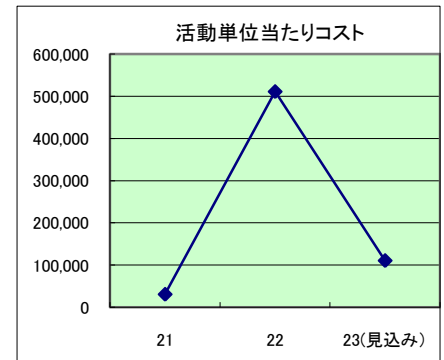


事務事業名	緑化樹配布事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	款	8	土木費
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化	項	4	都市計画費
	施策の方向	(1)	緑地の保全と緑化の推進	目	3	公園費
				事業	1	緑化推進
関連する計画等			作成部署	土木部みどり公園課		
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先	072-958-1111 内線 2420		
	市民					
	意図(どういう状態にしたいのか)		潤いのある都市空間の創出を目指す。			
事業の内容	住宅・学校・町会・工場などの緑化事業で、団体を対象に大阪府から希望樹木に合わせて不足分を市より補充し配布する。公共施設や教育機関に花苗や球根(チューリップ)、樹木を配布し施設の緑化に努める。					
根拠法令等	大阪府緑化樹配布要領					
事業開始時期	☐ 昭和	2 年開始	☐ 明確にはわからない	終了年度	平成	年度
	☒ 平成		☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			
事業開始時からの状況変化	近年では配布数が100本以下と減少傾向にある。					
市民や議会の要望						
実施手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称()		委託内容			
	☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		168	15	100	
人件費【2】 (千円)		450	1,008	1,008	
職員数	正規職員	0.06 人	0.14 人	0.14 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		618	1,023	1,108	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	618	1,023	1,108	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 配布数		本	20	2	10
② 配布件数		件	1	1	1
③					
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		30,900 円	511,500 円	110,800 円	
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		5 円	9 円	9 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	配布率	%	申請に対し、どの程度配布できているか	目標	100	100	達成率(%)	100
		(式) 配布件数÷申請数×100			実績	100	100	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	公開性のある空地等の緑化を進め地域に潤いを与える上で市の関与は必要な事務事業である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	☒ ☒ ☒ ☒ ☐ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	潤いのある都市空間を創出するために必要な事業である。大阪府で準備できる樹木数には限りがあるため、市にて不足分を補っている。
分析・評価	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など) 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒ ☐ ☒ ☒ ☐ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐	☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	樹木の配布はするが、関係資材の購入は植樹後の管理団体が負うなど最小限の経費で事業を実施している。配布を受けた団体が樹木の維持管理を行う。 近年、配布本数(申請件数)が減少傾向にあり、地域緑化による潤いのある空間を創出するための、より効果的な手法を検討する必要がある。
分析・評価	有効性	上位の施策(目的)が明確である 上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	潤いのある都市空間を創出する事業である。自発的な活動に対する支援なので意識啓発、環境改善にもつながる。
分析・評価	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒ ☐ ☒ ☒	☐ ☒ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	植樹場所の選定や樹種などの計画・企画・立案をはじめ市民との協働で進められている。市ホームページ等で事業内容を連載しているが、市民への十分な周知に至っていない。
分析・評価	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	申請に対し適正に配布できているが、申請件数自体が減少傾向にある。

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	配布本数(申請件数)が減少傾向にある。地域を緑化し潤いのある都市空間を創出するために、より効果的な取り組みが必要である。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
行本部評価	現行の取り組みについては、見直すこととし、市民との協働による継続的な地域緑化を促す、より効果的な手法を検討する。	
	総合評価	評価理由・意見
行本部評価	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善	
	☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	